

# SHOW HEY シネマールーム

★★★★★

愛しの故郷（我和我的家乡／My People, My Homeland）  
第3話 最後の授業（最后一課）

2020年／中国映画

配給：wow cool entertainment／152分（第3話：約30分）

2021（令和3）年5月29日鑑賞

シネ・ヌーヴォ

Data

監督：シュー・ジェン

出演：シュー・ジェン／ファン・ウ  
エイ／タオ・ホン／チャン・  
イー

## 👁️👁️ みどころ

中国映画には“古き良き時代”を思い出させる「学校モノ」がよく似合うが、  
米国と競争するほどの強国になった中国では、それは今いずこ？

ならば、はるか昔にあった記憶を再現！年離れた教師の記憶が若き日の19  
92年に戻ったのなら、教え子の我々も！

なるほど、そんな大仕掛けの「最後の授業」とは？

— \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \*

### ■□■中国映画には「学校モノ」がよく似合う！■□■

私は『シネマ5』に「学校特集」と題して①『子供たちの王様（孩子王）』（87年）（『シネマ5』267頁）、②『草ぶきの学校（草房子）』（99年）（『シネマ5』270頁）、③『思い出の夏（王首先の夏天）』（01年）（『シネマ5』273頁）を収録した。そのことからわかるように、中国映画には「学校モノ」がよく似合う。

しかして、本作第3話の『最後の授業』は、今はアルツハイマーで苦しむ教師（范伟（ファン・ウェイ））が、中国東部、浙江省杭州の千島湖を訪れて授業をする物語だが、第3話は①、②、③のような素朴一色ではなく、今風のギャグもほどよくちりばめられている。基本はあくまで「中国映画の王道」たる、ほんのり温かく、かつ懐かしく、というものだから、その良さをしっかり味わいたい。

### ■□■“教師役”で思い出すのは、やっぱりあの名作！■□■

第3話の舞台は、中国東部の浙江省杭州（らしい）。杭州は西湖や蘇東坡等で日本人にもよく知られており、私の中国旅行の経験も多い。しかし、杭州が千島湖というダム湖の美しい風景で知られていることは、本作を観てはじめて知ること。ネット情報によれば、本作の最後に登場する美しくライトアップされた小学校は、千島湖の近くに存在するうえ、実際の小学校で19年より使われているようだ。ちなみに、『草ぶきの学校』に登場した学

校は、中国江蘇省蘇州の太湖のほとりの小学校だった。

『初恋のきた道』（00年）（『シネマ5』194頁）は教師の駱長余（ルオ・チャンユー）が彼の故郷である華北の三合屯の草ぶきの学校に帰郷するところから始まった。同作で、ヒロインのおさげ髪で赤い服を着た美少女を演じた章子怡（チャンツィイー）はもちろんだが、教師役のルオ・チャンユーを演じた鄭昊（ジョン・ハオ）も実にカッコ良かったが、本作の教師、ファン・ウェイは？

## ■□■記憶ははるか昔に！ならばそれを再現■□■

第3話の教師ファン・ウェイは、若い頃はカッコ良かったのかもしれないが、今は年をとり、持病の脳梗塞で倒れ、記憶喪失に苦しんでいた。そんな彼の記憶は1992年に戻ってしまっているらしい。そこで、かつての彼の教え子たちは、老教授を助けるために、子供たちが当時の勤務地である杭州の山村へ出ていき、村人総出であの頃の小学校を再現することに。

『シネマ5』で特集した前述の3本の映画は、いかにも「これぞ古き良き時代の中国映画！」だった。それに対して、近時の『少年の君（少年的你）』（19年）を観れば、年間1千万人を超える「高考」の競争を巡る今の中国社会の病巣がよくわかる。「古き良き時代の学校」は、近々鑑賞予定の『ブータン 山の教室』（19年）くらいしかなくなったの？

## ■□■今は24色の絵の具だが昔は水墨画、それでもいい画が■□■

スイスで水墨画を指導していた老教授ファン・ウェイがなぜ杭州の千鳥湖にある小さな小学校に赴任し、水墨画を教えていたのかはよくわからないが、第3話『最後の授業』では、日本の“やらせ”まがいのバラエティー番組のような低俗なものになりかねないストーリーが次々と展開していくので、それに注目！

1990年当時のファン・ウェイの教え子たちは、もちろん今は大人。したがって、当時の小学校の生徒役を演じるのは、彼らの子供たちだ。大人たちは1992年当時のファン・ウェイ先生の教え方はもちろん、あの当時の貧しい学校環境をよく知っているから、それを再現する努力をすることは可能。しかし、今はぜいたくな暮らししか知らない彼らの子供たちがうまく1992年当時の小学生を演じることができるのだろうか？

2021（令和3）年6月3日記